

兒童剪花戴之取秋意也といへるが如し、

〔萬葉集六〕雜歌山部宿禰赤人作歌二首并短歌○中
鳥玉之夜乃深去者久木生留清河原爾知鳥數鳴

〔萬葉集十一〕古今相聞往來歌寄物陳思

浪間從所見小島之濱久木久成奴君爾不相四手

〔萬葉集略解十一〕下ひさ木は和名抄楸木比佐と有て赤めがしはといふもの也といへりされど

それは桐梓などの類にて潮風に堪て島などに生べくもあらぬ物也同じ名にて濱久木は異木にや後に濱びさしとせるは誤也上は久しくといはん序のみ、

〔夫木和歌抄二十九〕千五百番歌合

從二位家隆卿

ひさ木おふるさほの河原に立千鳥空さへきよき月になく也

〔大和本草十〕雜木楸樹 救荒本艸曰樹甚高大其木可作琴瑟葉類梧桐葉而薄小葉稍作三角尖又開

白花味甘篤信曰楸樹山林村落處々有之ヒザキト云又カシハトモ云其葉ハ桐葉ニ似又梓ニ似タリ苗及葉ノ莖葉ノ筋赤シ故ニ赤目柏ト云葉ノ末三處尖角アリ皆本艸ニ云ガ如シ梓ノ實ハ豇豆ノ如ク長莢アリ楸ノ實ハ長莢ナシ

〔大和本草十一〕園木ケラノ木 桐ニ似タル喬木也アカメガシハノ葉ニ似テ少厚シ又葉ハ薯蓣ニ

似テ末尖リ又梧桐ニ似タリ大サモ同ジ葉ノ莖紅シ實ハ南天燭ヨリモ大ナリ冬熟シテ赤シ一フサニミノル事南天燭ヨリ多クシテ其連房大ニ長シ實ノ内ニ芥子カラスホドナル黒キ細子多シ桐ノ類ナリ又梓ニモ似タリ本草梓ノ集解曰又一種鼠梓一名楸亦楸屬也ケラノ木モ此類ナルベシ

〔和漢三才圖會八十三〕喬木楸 和名比佐木